

(様式1)

教育研究業績書		
2026年5月1日		
氏名 伊藤千春		
研究分野	学位	
健康行動科学・公衆衛生看護学・産業看護学	博士（ヒューマン・ケア科学） 筑波大学	
研究内容のキーワード		
職業性ストレス・ストレスマネジメント・ヘルスリテラシー		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践例 1) 公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ（成人保健活動、産業保健活動、健康診査、グループ支援など） 2) 健康教育論（健康教育と保健行動） 3) 保健医療行動論 4) 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 5) 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ 6) 総合実習 7) 療養支援看護実習 8) 基礎看護実習 9) 看護援助実習 10) 看護総合演習 11) 基礎ゼミナール 12) 卒業研究 13) 災害と地域づくり	2016年～ 2016年～ 2018年～ 2016年～ 2016年～ 2016年～ 2019年～2024年 2016年～2019年 2016年～2018年 2016年～2024年 2019年～ 2019年～ 2022年～	生活習慣予防、保健活動の展開例について講義、振り返りとしてワークシートを活用 健康行動理論の基礎と行動変容ステージ、ヘルスリテラシーについての講義、演習 行動経済学（ナッジ理論などの演習） 保健センター、保健所、小中学校、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの実習引率と指導（保健師選択履修生） 家庭訪問、健康教育、地域診断などの支援技術の演習と指導（保健師選択履修生） 地域包括支援センター、健診センターなどの実習指導 病院実習引率（4年生） 病院実習引率、指導（1年生） 病院実習引率、指導（2年生） 事例検討、ロールプレイ展開指導（4年生） グループ討議、レジュメ作成指導（1年生） 研究テーマ選定、卒業論文指導（4年生） 全学共通科目（一般教養科目）
2. その他 1) 西武文理大学看護学部学生サービス委員会主催講師「三次喫煙に関する講話」 2) 西武文理大学サービス経営学部主催 キャリア開発Ⅰ講師「喫煙の健康被害と喫煙マナー」	2017年～2018年 2020年1月	看護学部2年生を対象に三次喫煙の新しい知見と健康被害について講演を行った。 サービス経営学部1年生を対象に健康増進法改正による企業の禁煙対策と三次喫煙について講演を行った。
3. 職務上の実績に関する事項 1) 健康長寿埼玉モデル狭山市「おりぴい健康マイレージ事業」身体測定会 2) 健康づくり講演会 主催すこやかさやま、狭山市 3) さやま市民大学 実践に役立つ健康づくり講座（オンライン） さやま市民大学 ともにつくる健康づくり講座（オンライン） 4) 埼玉県東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）TJUP地域交流委員会共同FD・SD 5) 西武文理大学・狭山市健康づくり課共催事業健康講座	2017年～2019年 2017年～2019年 2021年 2022年 2022年 2025年	狭山市委託事業への協力として学生ボランティアと共に住民の健康増進を支援した。 睡眠とストレスマネジメント、笑い筋体操、オーラルフレイルと減塩の重要性の講演を行った。 新型コロナウイルス感染症に負けないからだづくり（肺活トレニング）の講座を行った。 腸内細菌と免疫力の関係について講座を行った。 地域と協働する防災教室をテーマに本学の地域貢献活動として防災教室の事例紹介を行った。 ヘルスリテラシーをテーマに健康情報を効果的に活用する方法やヘルスリテラシーを高める方法について講演を行った。
職務上の実績に関する事項		
事項	概要	
1. 資格、免許等 看護師免許・保健師免許・養護教諭2種免許・第一種衛生管理者・介護支援専門員・産業カウンセラー・VDT作業労働衛生教育インストラクター		
2. 所属学会および所属職能団体 日本産業衛生学会・日本産業看護学会・日本産業精神保健学会・日本産業ストレス学会・日本公衆衛生学会・日本公衆衛生看護学会・日本保健医療行動科学会・日本看護学教育学会		
(様式2)		
研究業績等に関する事項		

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
1. 中小企業における経営者と管理者の行動特性、職場ストレスとメンタルヘルスとの関連—共分散構造分析による比較検討—	共著	2019年	ストレス科学研究 34, 29-37.	伊藤千春, 岩崎靖, 高橋俊彦. 中小企業の経営者と管理者を対象に職場ストレスとメンタルヘルスとの関連を因果モデルにて検討した。
2. 情報通信業における男性労働者の職業性ストレスとレジリエンスとの関連	共著	2018年	産業精神保健 26, 37-46.	伊藤千春, 橋本佐由理. 情報通信業の男性労働者を対象に対人関係、抑うつ度、裁量度、同僚・上司支援、達成感、自己価値感とレジリエンスとの関連を検討した。
3. SAT気質コーチング法を用いた労働者のストレスマネジメント支援	共著	2014年	Journal of Health Counseling 20, 9-17.	伊藤千春, 橋本佐由理. 因果モデルを構築しタイムマネジメントスキル群とイメージ法群との介入の比較を行った。
4. 民間企業男性労働者の職業性ストレスと心理社会的要因—SAT法によるストレスマネジメント支援—	単著	2014年	筑波大学大学院 博士論文	気質や自己イメージと職業性ストレスとの関連を仮説モデルにて検討しSAT法による介入を行った。
5. 男性勤労者の職業性ストレスと心理特性との関連	共著	2012年	日本保健医療行動科学会年報 27, 185-199.	伊藤千春, 橋本佐由理. 職業性ストレスと心理特性との関連を年齢、職種による比較を行った。
6. 男性勤労者の職業性ストレスと心理特性との関連	単著	2010年	筑波大学大学院 修士論文	男性労働者を対象に職業性ストレスと心理特性、気質との関連を検討した。
(学会発表、講演など)				
1. 健康無関心層へのポピュレーションアプローチにおけるおりびい健康マイレージの取り組みの実践報告	共著	2026年2月	第27回埼玉県健康福祉研究発表会	石井可奈, 伊藤千春, 神庭純子, 加藤小夏, 中野知子, 井ヶ田健吾. 健康マイレージ事業登録者増加のための具体策について、健康教育論受講大学生が行政の保健師と意見交換を行った。
2. 地域への愛着概念における要因構造分析～共分散構造分析を用いて～	共著	2025年1月	第13回日本公衆衛生看護学会	井上直子, 伊藤千春. 地域への愛着の概念を4つの潜在変数により最適モデルを作成した。「環境」の潜在変数を起点とし、「人との繋がりを大切にしたい」「自分らしくいられる所」を経由し、「住民であることの誇り」を規定することが明らかとなった。
3. 医学部学生の地域への愛着醸成と地域診断演習を規定する要因構造	共著	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会	井上直子, 柴崎智美, 金田光平, 杉浦由佳, 本橋千恵美, 伊藤千春, 瀬在泉, 星旦二, 森茂久. 医学部6年生へ診療型臨床実習の事前学習として地域診断演習を行い、演習前後の効果をパス解析にて比較した。演習により地域への愛着が増し、授業、演習に対する満足度が高くなることで適合度により説明された。
4. 社会参加が地域への愛着とヘルスリテラシーに与える構造的関係	共著	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会	伊藤千春, 井上直子, 瀬在泉. 20～69歳男女2000人の共分散構造分析による因果モデルを検討し、性別による多母集団同時分析を行った。つながりの場への参加を通し、健康情報の伝達をすることで生きがいにつながり、地域への愛着が高まる可能性が示された。また、性別により社会参加を通して得られる生きがいやヘルスリテラシーが異なる可能性が示唆された。
5. 地域住民のヘルスリテラシーとソーシャルキャピタルとの関連性に関する文献検討	共著	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会	瀬在泉, 伊藤千春, 井上直子. 国内外の文献からヘルスリテラシーとソーシャルキャピタルは強度の差はあるものの、複数の文献で両者が正の関連を示していた。ヘルスリテラシーとソーシャルキャピタルを含めた包括的な構造関連性を示す研究は中国での調査2件のみであった。
6. 地域志向教育～新設科目「災害と地域づくり」2年間の成果と課題～	共著	2024年8月	第34回日本看護学教育学会学術集会交流セッション	小松妙子, 大賀明子, 伊藤千春, 奥山陽子. 教育方法の課題として学生の協働や主体的な参加姿勢、防災・減災に関する興味を地域貢献・地域包括ケアへつなげるための方策について意見交換した。
7. 全学共通教育における初年次からの地域志向教育～「災害と地域づくり」の成果と課題～	共著	2023年8月	日本看護学教育学会第33回学術集会交流セッション	大賀明子, 小松妙子, 伊藤千春, 奥山陽子. 全学共通教育における初年次からの地域志向教育について、課題と今後の在り方について意見交換をした。
8. 地域住民のヘルスリテラシーとヘルスプロモーション支援の検討	共著	2022年1月	第10回日本公衆衛生看護学会	伊藤千春, 神庭純子, 尾崎美恵子, 飯塚ちひろ. ヘルスリテラシーの能力は個人属性との関連は認められず情報へのアクセス能力、健康のリスクの判断、地域活動への参加に支援が必要であることが示唆された。
9. COVID-19下で健やかな生活を送るための予防対策に関する実践—A大学における学校保健実習の取り組みの成果と課題—	共著	2021年1月	第9回日本公衆衛生看護学会	尾崎美恵子, 神庭純子, 伊藤千春, 飯塚ちひろ. 学生が啓蒙活動として新型コロナウイルス感染症予防対策の動画、掲示資料を作成したことは、効果的な実践予防活動となった。

10. 保健師実践能力を育成する教育プログラムの検討ー地域ボランティア活動に参加した学生のフォーカスグループインタビューから導く学びの内容ー	共著	2021年1月	第9回日本公衆衛生看護学会	神庭純子, 飯塚ちひろ, 尾崎美恵子, 伊藤千春. ボランティアを地域住民との出会いの機会ととらえ、教員や学生同士の交流も学年をこえた学び合いとなっていた。
11. 保健師実践能力を育成する教育プログラムの検討ーA大学卒後の保健師のフォーカス・グループインタビューから導く現状と課題ー	共著	2020年1月	第8回日本公衆衛生看護学会	神庭純子, 尾崎美恵子, 伊藤千春, 飯塚ちひろ. 学生時代の学びが卒業後の保健師実践能力に活かされているか質的に検討した。
12. 中小企業における経営者と管理職の職場ストレス、行動特性の比較	共著	2017年5月	第90回日本産業衛生学会	伊藤千春, 岩崎靖, 蓮井貴子他. 中小企業の経営者と管理職を対象に職場ストレス、コーピング、メンタルヘルスとの関連を因果モデルにて検証した。
13. 女性糖尿病患者の心理特性や不健康な行動感覚に関する研究ー40歳代から60歳代の更年期症状のない女性との比較からー	共著	2016年6月	第31回日本保健医療行動科学会学術大会	橋本佐由理, 福田佳奈子, 蓮井貴子, 伊藤千春他. 女性糖尿病群と更年期症状のない女性群の不健康な行動感覚、抑うつ度、心理特性、気質を比較した。
14. 中小企業経営者の職場ストレス、行動特性とメンタルヘルスとの関連ー管理職との比較ー	共著	2015年12月	第23回日本産業ストレス学会	伊藤千春, 蓮井貴子, 橋本佐由理. 中小企業の経営者と管理職を対象にメンタルヘルス不調への影響を因果モデルにて検証した。
15. 内心と行動の観点からみる労働者のレジリエンスについて	共著	2015年6月	第30回日本保健医療行動科学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 情報通信業労働者を対象にレジリエンスと心理特性、協調性、問題解決能力との関連を性別で比較した。
16. 情報通信業男性労働者のレジリエンスと職業性ストレスとの関連	共著	2014年11月	第22回日本産業ストレス学会	伊藤千春, 橋本佐由理. 情報通信業男性労働者を対象に職業性ストレスとレジリエンスとの関連を職種で比較した。
17. 労働者のストレスマネジメントに向けての因果モデル構築	共著	2014年6月	第29回日本保健医療行動科学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 気質のセルフケア行動とレジリエンス、職業性ストレス度との関連を因果モデルにて検証した。
18. 勤労者の職業性ストレスと心理特性との関連ーストレスマネジメント支援に向けてー	共著	2013年6月	第28回日本保健医療行動科学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 情報通信業労働者を対象に職業性ストレス、レジリエンス、心理特性、気質との関連を検討した。
19. コーピング特性と気質との関連についてー勤労者の調査からー	共著	2011年9月	第18回ヘルスカウンセリング学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 労働者を対象にコーピングと気質との関連を検討した。
20. 勤労者のストレス背景と気質、コーピングとの関係	共著	2011年6月	第26回日本保健医療行動科学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 労働者を対象に職業性ストレスの高さと気質、コーピングとの関連を検討した。
21. 職業性ストレスと気質、コーピングとの関係	単著	2011年1月	第18回日本産業ストレス学会	労働者を対象に職業性ストレス、気質、コーピングとの関連を検討し、セルフケア教育の一助とした。
22. 男性勤労者の職業性ストレスと心理特性について	共著	2010年7月	第17回日本産業精神保健学会	伊藤千春, 橋本佐由理. 職業性ストレスと心理特性結果のフィードバックがセルフケアにつながることを示唆した。
23. 勤労者のストレス自覚と気質、心理特性、食背景との関連	共著	2009年9月	第16回ヘルスカウンセリング学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. メンタルヘルス教育受講者を対象にストレス度、心理特性、食事との関連を検討した。
24. 気質、心理特性、食事がストレス自覚に与える影響について	共著	2009年6月	第24回日本保健医療行動科学会学術大会	伊藤千春, 橋本佐由理. 労働者を対象に睡眠、残業時間、食事、気質、心理特性との関連を検討した。